



水野敏夫

Q: 中小企業について、現在、どのような考えの下、支援を行っているのか。

A: このたびのコロナ禍では、サプライチェーンの毀損や製造ラインの停止などの生活面、またイベントの中止や外出自粛などの消費面、それぞれの活動が停滞し、市経済全体に大きな影響を及ぼしている。このため、事業正統に向けた緊急対策として、企業の資金繰りの確保や雇用の維持を第一に考え、これまで重点的に支援を行ってきた。

経済の回復に向けて、「人材の確保・育成」「生産性の向上」「創業、新規事業の創出」に加え、「販路の拡大」「円滑な事業継承」等、中小企業の声も伺いながら、支援を進めていく。



佐藤成子

Q: コロナ感染拡大の中で、女性の家事・育児負担増について、現状をどう受け止め、どう対応したのか。



A: アンケート結果を見ると、増大した家事・育児の多くを女性が担い、ストレスを抱えている現状がうかがえる。これは、家事・育児等の無償労働は女性が担うべきであるという意識が顕在化したものと捉えることができる。女性会館では、電話相談の予約制や Zoom による面接相談を導入したほか、コロナ禍に対応した相談機関等のリストを作成し、困難を抱える女性の支援を図った。

今後も女性会館等と連携しながら、男女共同参画社会の実現に向け、女性へのサポートに努めていく。

TOPICS

区役所の混雑状況がリアルタイムにわかります

静岡市では、市民サービス向上と新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、各区役所の窓口（特に混雑する窓口）の混雑状況を、静岡市公式ホームページにてリアルタイムでお知らせしています。

また、静岡市LINE公式アカウントのメニューバーにこのページのアイコンが表示され、ワンクリックでアクセスできます。

静岡葵区役所戸籍住民課
マイナンバーの混雑ランプ



混み

- 青…空き
- 黄…やや混み
(待ち時間 15 分以上)
- 赤…混み
(待ち時間 30 分以上)

静岡市HPイメージ

「パークレット」が開設！
～ストリートが憩いの場に～

葵区の呉服町通りと七間町通りの2ヶ所に、道路を歩行者の憩いの場として活用する「パークレット」が開設されました。これは、路上パーキングチケットを廃止した空間を活用したもので、コロナ禍に対応した屋外スペースとして来年3月末まで社会実験として設置されます。

清水区のJR草薙駅前には8月からすでに「まちなかオープンテラス」が試験的に設置されています。さらに、10月以降、北海道沿線の店先空間活用やJR静岡駅北口地下広場での特産品販売が実施されます。



パークレット設置イメージ

志政会 しせいかい
だより

令和2年10月発行

第21号

発行/静岡市議会 志政会
編集/志政会 広報部
〒420-8602
静岡市葵区追手町5番1号
TEL 054-254-2111
(内4505)
FAX 054-653-3412

9月議会



新型コロナウイルス感染症対策

第6弾

新型コロナウイルスの感染者が全国で再び増加していることを踏まえ、「生命（いのち）のLife」を守るため、感染防止対策、医療・福祉への支援等を強化するとともに、「生活（くらし）のLife」を取り戻すため、中小企業等への支援、新しい生活様式に対応した環境整備を推進していきます。

感染拡大防止対策

■検査体制の拡充

- ・短時間での判定が可能な抗原検査等に係る自己負担額の助成
- ・ドライブスルー方式でのPCRセンターの継続（R3.3.31まで）



■相談体制の継続

- ・新型コロナなんでも相談ダイヤル、帰国者接触者相談センターの継続（R3.3.31まで）

医療・福祉への支援

■医療への支援

- ・市立清水病院に勤務する医療従事者等への慰労金を支給



■福祉への支援

- ・収入が減少した就労継続支援事業所の生産活動の再起に要する費用への助成
- ・救護施設等におけるかかり増し経費の支援等

児童生徒への支援

■小中高等学校における学習環境の整備

- ・衛生用品購入や三密回避の取組の実施（衛生用品・サーキュレーター・家庭学習教材作成に係る消耗品等の購入）



■放課後児童クラブへの支援

- ・衛生用品等の購入に係る経費の支援

中小企業等への支援

■円滑な資金調達への支援

- ・資金繰りが困難な中小企業等に対し、実質無利子での借入を可能とするために創設する基金への積立金

■事業継続強化等への支援

- ・事業継続計画（BCP）に基づく設備投資等に対する助成
- ・電子商取引やテレワークを活用するため、IT設備を導入する経費を助成

地域経済活性化

■地元消費拡大の促進

- ・モバイル決済サービスの利用者に対しポイント還元を実施。
期 間：R2年12月1日～31日
還元率：1回あたり支払額の20%

■Go To しずおか
キャンペーン

- ・市内宿泊客に対し、飲食や土産物購入等に使えるクーポンを配布。

新しい生活様式

■情報通信環境の整備拡大

- ・市内中山間地域の情報通信基盤未整備を解消するため、光回線整備費用を助成



■行政サービスの利用向上

- ・区役所窓口業務への電子申請サービス等の導入（令和3年4月より順次開始予定）



令和 2 年度当初予算の事業見直しについて

新型コロナウイルス感染症拡大の影響による企業収益の悪化や消費低迷を受け、市税や地方消費税交付金などの大幅な減収により財源不足が見込まれ、さらにコロナ対策予算を確保する必要があるため、令和 2 年度当初予算すべての事業について見直しを行っています。6 月補正予算では、約 3 億 7431 万円、9 月補正では約 6 億 2,979 万円を減額しました。

このほか、歴史文化施設建設事業の継続費を減額するとともに、海洋文化施設整備事業、新清水庁舎整備事業の債務負担行為を廃止しました。

歴史文化施設



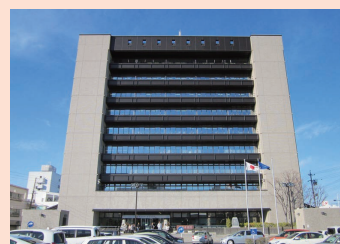
新型コロナウイルス感染症に対応した取組を実施した上で、静岡の歴史や「平和都市」のアピール、コロナ後の本市全体の経済活性化を目指し、事業を再開する。

海洋文化施設



本年度中の民間事業者の参入の目途がたたないことから、PFI 事業として民間事業者の参入に向け、再検討や調整が必要。事業再開に向け、東海大学や JAMSTEC 等との協議を進める。

新清水庁舎



コロナの影響を受け、今後行政サービスのあり方が大きく変わっていくことが想定されることから、今年度中の再開は困難。今後、庁舎のあり方の検討を進めていく。

志政会は、「コロナ禍の中で海洋文化施設・新清水庁舎整備事業の一時停止はやむを得ない」と判断しました。今後、2つの事業のリスタートに向け、課題に積極的に対応するとともに、現在、県が協議を進める清水駅前の ENEOS (旧東燃跡地) も含めたサッカー場構想等の土地活用の具体化を進め、海洋文化都市のまちづくりに取り組んでいきます。

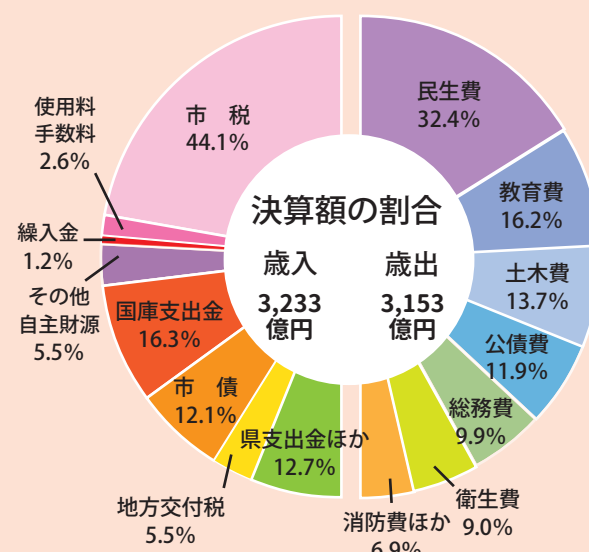
令和元年度決算概要

静岡市の令和元年度決算概要が発表されました。一般会計の歳入は 3,233 億円（前年度比 2.8%増）、歳出は 3,153 億円（同 2.9%増）で、次年度に繰り越すべき収支を差し引いた実質収支は 50 億 8 千万円の黒字となりました。一般財源に占める経常的経費の割合を示す経常収支比率は 94.7%と、財政の硬直度がやや進んでいます。

また、市債の市民 1 人当たりの残高は、約 67 万 2 千円（同 1 万円増）となっています。

市民 1 人当たりの市民税負担額…
20 万 4,522 円

市民 1 人当たりの行政経費…
45 万 2,339 円



* 令和元年度の名総額を、令和元年度末住民基本台帳人口（697,246 人）で割りました。

教育現場視察 — 東中学校・横内小学校 —

～ICTを活用した最先端事業～

志政会は 9 月 8 日、静岡市立東中学校・静岡市立横内小学校を訪問し、横内小学校では、児童と教諭が 1 人 1 台のパソコンを使う最先端の国語の授業を視察しました。宮沢賢治の短編童話「やまなし」を学ぶ授業では、児童がそれぞれの意見をパソコンで打ち込み、教諭がそれを一覧にして大型モニターに表示。「児童が打ち込んだものがすぐに見られる」といった利点を確認しました。



このパソコンや通信関係の環境は、実証のために企業から貸与されたもので、クラウドアプリを使い、国語や社会、道徳の授業を実施しているとのこと。

その後の意見交換では、ICT 支援員の配置の必要性や、高速の通信速度を維持できる環境整備について、意見が交わされました。今後、これらの意見を会派政策提言へ活かしていきます。

各種団体との意見交換会

新型コロナウイルス感染拡大により、経済の停滞をはじめ、医療・教育・福祉等、様々な分野に影響が出ています。志政会では、精力的に各種団体と意見交換会を開催し、現場の声を伺っています。

今後、これらの意見・要望を集約し、市長へ提言を行っていく予定です。



PCR 検査等について
清水病院と意見交換



ICT 教育について
教職員組合と意見交換



コロナ禍での利用者との面談等について、介護老人施設と意見交換



清水の医療体制について
清水医師会と意見交換



介護現場の現状について
意見交換



静岡市の広報のあり方について
「広報監」と意見交換



コロナ感染拡大の影響について
静岡旅館業組合と意見交換



SDGs 及び ESD for 2030 について意見交換